2026 年度

研究分野	授業科目名	科目責任者
生理系分野	精神行動科学研究	石原 武士

開講年次	共通／専攻／選択	単位数	
1～4	必須専攻	20	

目的

（1）薬物療法および非薬物療法に対する治療反応性の解析から，青年期以降の発達障害の病態と治療を理解する。
（2）認知行動療法/行動療法への治療反応性の解析から，強迫性障害の病態と治療を理解する。

授業到達目標

（1）思春期・青年期の精神障害の成因と臨床症状について説明できる。
（2）気分障害の成因と治療について説明できる。
（3）成人期の発達障害について説明できる。
（4）強迫性障害の臨床的特徴及び治療について説明できる。
（5）摂食障害の成因と臨床症状について説明できる。
（6）認知機能障害を含む高齢者の精神症状について説明できる。
（7）精神障害の臨床薬理学について説明できる。
（8）精神障害への認知行動療法/行動療法について説明できる。

授業計画

月日	曜日	時間	担当者	授業内容
隔週	木	17:30 - 18:30	北野 絵莉子	（1）睡眠障害の病態と治療について （2）器質性精神障害について
隔週	金	17:30 - 18:30	石原 武士	（1）精神障害の臨床薬理学について （2）認知症を持つ患者の心理的ケアについて （3）せん妄の成因及びケアについて
毎月	第 1, 3 火	17:30 - 18:30	村上 伸治	（1）ピアジェの発達論について （2）知的障害について （3）発達障害について
毎月	第 2, 4 木	17:30 - 18:30	和迩 健太	（1）心身症について （2）身体疾患における精神症状について
隔週	水	17:30 - 18:30	高橋 優	（1）摂食障害について （2）パーソナリティ障害について

評価方法

（1） 1・2年次に中間発表へ出席する。
（2） 2年次に中間発表で発表する。
（3）APRIN e-ラーニングプログラム（eAPRIN）の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。]
（4） 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ，科目責任者の認定印をもらい，学期ごとに提出する。

課題（レポート等）に対するフィードバック

中間発表の抄録作成時に，指導・助言を行う。

教科書

ISBN- 9781975175733, Kaplan & Sadock's Comprehensive Textbook of Psychiatry (11th Edition), in 2 vols, R.Boland, M.L.Verduin, Wolters Kluwer, 2025

参考書

ISBN-9781118381885, Rutter's child and adolescent psychiatry (6th Edition), Anita Thapar, et al., Wiley-Blackwell, 2015

準備学習（予習・復習等）

研究内容をその日のうちに記録する。記録については，効率に配慮し，30 分～ 1 時間程度でまとめ，簡潔に説明できるようにしておくことが望ましい。

修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

卓越した研究成果をあげ，精神科学の深い学識を獲得する。

注意事項・メッセージ

できるだけ多くの文献（英語文献を含む）に触れ，自ら学ぶ姿勢が望まれる。
実臨床での応用を目指した研究を心がける。